

## 令和5年度春日市立春日南中学校学校経営要綱～10年後を生き抜く逞しい人間力の育成～

### 1 学校経営の基本構想

#### (1) 学校経営の基本や基盤

- ◆公教育としての学校（国民としての自覚と責任を涵養する教育）
- ◆夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力を育成する学校（夢追人を育成する教育）
- ◆学校、家庭、地域で共育を推進する学校（学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進）
- ◆社会の現状や2030年以降を踏まえた教育活動を推進する学校（地域参画を通した地域の担い手づくり）



- ① 教育基本法や関係諸法規、中学校学習指導要領、「『令和の日本型教育』の構築を目指して」、福岡県教育施策・春日市教育施策に則った教育を行う。
- ② コミュニティ・スクールとして、現代社会の要請並びに保護者や地域の要望等について、生徒の実態に応じ、それぞれの願いの具現化をめざす。**地域コーディネーター、地域学校協働本部の組織化**
- ③ 基礎的・基本的な知識・技能の習得を基盤とし、思考力・判断力・表現力の育成を図り、**学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性を涵養する。**
- ④ 多様な価値観や文化で構成されている社会において、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と責務を行使し、多様な関係者とアクティブに関わろうとする資質・能力を育成する教育活動を創造する。**（地域貢献から地域参画への転換）**
- ⑤ 春日南中学校区の学校・家庭・地域が一体となって生徒を育成するコミュニティ・スクールを推進し、互いの双方の関係構築に努め、社会に開かれた教育課程を創造する。
- ⑥ カリキュラム・マネジメント（教科横断的な教育活動推進・PDCAサイクルの確立を通じた学校改善・人的物的資源の活用）の推進を通して、社会に開かれ、**社会を開く教育課程を創造する。**
- ⑧ コロナ感染予防の徹底を図り、どのような状況に陥っても「学びを止めない」姿勢をもち、出来る事を確実に遂行し学校と生徒、家庭の関係構築を積極的に図る。「コロナは切っても、生徒との関係は絶対に切るな」

#### (2) 学校教育目標

＜学校の教育目標＞ 総合的な人間力を培い、地域の担い手となる生徒の育成  
－地域貢献から地域参画への転換－

【校訓】 「剛健」（知識を知恵に転換出来る生徒）「誠実」（我々の世界を考え行動する生徒）  
「創造」（失敗を恐れず果敢にチャレンジする生徒）

#### ＜総合的な人間力とは＞

総合的な人間力とは、「学力」「心力」「キャリア形成力」を基盤として「夢追人として、どんな困難にも継続した努力で挑戦する力」や「他者との適切な関係を築き、個性を發揮し、自己実現を図りながらよりよい社会づくりに関わる力」を有した人間力である。

#### ＜春日南中で育成する資質能力＞

- 人間関係調整能力：自分も他人も大切にする力
- コミュニケーション力：傾聴する力、説明する（伝える）力
- 地域参画力：地域課題の解決策を考え発信する力
- 社会認識力：よりよい社会を目指して行動する力

## <令和5年度春日南中学校教育推進テーマ>

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進  
– 「我の世界」から「我々の世界」を生きる市民性の育成をめざして–  
<生徒スローガン>

# みんなで一緒に「夢」を追いかけてみないか？

### (3) 具体的目標

#### ① 目指す生徒像

- 知識及び技能を習得し、思考力、判断力、表現力を向上させ、学びに向かう力、人間性が涵養された生徒【学力】  
**(目標) 各種検査1年53・2年53・3年55**
- 自他を大切にして、思いやりの心を実践し、よりよい社会づくりに関わろうとする生徒【心力】  
**(目標) 学級満足度尺度・ソーシャルスキル尺度全国平均以上・不登校出現率4.5%以下**
- 夢や目標に向かって、どんな困難に対しても、失敗を恐れずにチャレンジし続ける生徒【キャリア形成力】  
**(目標) 学力→学校評価「キャリア形成力」「地域参画」に関して評価5、4の割合60%以上**

#### ② 目指す学校像

- 「居場所づくり」と「絆づくり」の一体的な充実を目指す学校
- 生徒と職員が師弟同行しながら総合的な人間力を向上させる学校
- 「何ができるか」「何をしなければならないか」を考え、失敗を恐れずチャレンジする学校
- 礼節や謙虚さを大切にし、地域に貢献し、地域づくりに積極的に参画する学校

#### ③ 目指す教師像

- 人権感覚をもち、生徒一人一人の可能性を大切にし、厳しさの中にも優しさのある、教育愛にあふれる教師  
【実践的指導力】
- 協働して教育課題の解決を図り、職能成長の意欲や**使命感**にあふれる教師【協働性・使命感】
- 教育公務員として職責を自覚し、生徒や保護者、地域から信頼される教師【服務規程の遵守】

#### ④ 目指す家庭像

- 子供が自立できるように、**基本的な生活習慣を確立**させ、子供とコミュニケーションをとりながら成長を見守り、励ます家庭
- 学校・地域と連携・協働し、社会の変化に主体的に対応しながら子供とともに伸びゆく家庭

#### ⑤ 目指す地域像

- 子供が地域・社会の担い手となるよう、**地域の中で社会道徳と共助の精神を涵養**し、自己有用感を高揚させる地域
- C Sとして学校・家庭と連携・協働し、双方向のwin-winの関係づくりを推進する地域
- 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を目指す地域

### (4) 自校の教育課題、経営課題、解決のための具体的方策 **【経営の重点】**

#### ① 教育課題

##### ア いじめ、不登校の防止について

##### ＜いじめに関する共通認識＞

1 「弱いものをいじめることは人間として絶対に許されない」との強い認識をもつこと。

2 いじめられている子供の立場に立った親身な指導を行うこと。

3 いじめは家庭教育の在り方に大きな関わりを有していること。

4 いじめの問題は、教師の児童生徒観や指導の在り方が問われる問題であること。

5 家庭・学校・地域社会の全ての関係者がそれぞれの役割を果たし、一体となって真剣に取り組む。

##### ＜不登校に関する共通認識＞

1 生徒が不登校に陥ったら、それ以上学校は手立てがないことを認識する。**(不登校になった時点で学校の敗北)**

2 不登校を生まない学校づくり、生徒の拠り所となる学校づくり、学校に来たくなる学校づくり

3 不登校対策委員会を中心に解決への具体的方策を明確化させ全職員でいじめ、不登校の未然防止に努める。

4 F F調査、B P Sモデル活用、学校生活アンケート、いじめアンケート、年3回の教育相談の確実な実施。

5 不登校対策専任教員、S C、S S W、通級、マイスクール子育て支援課、児童相談所、スクールサポーターとの積極的、円滑な連携を推進する。

## イ 学力の向上について

- 教師一人一人が学力実態を把握して、日常的な授業改善を通して学力向上を図る必要がある。

### <研究推進委員会>

#### ①個別最適な学びと協働的な学びの推進

「ステーション授業構想」「セルフ学習」等による対話的な学びの充実

#### <授業改善の視点>

①育成すべき資質能力の明確化（知識技能・思考判断表現・主体的に学ぶ態度）

②ICTの積極的活用（ツールとしての活用）、ICTを活用した授業と家庭学習の接続

③公開授業の実施

④学力向上プランの具現化

### <各教科部会>

①定期考查問題の改善（思考力、判断力、表現力の4割出題）

②授業と家庭学習の接続の在り方の究明

### <学年部>

①生徒の基礎学力を確実に向上させる確かな方策の明確化と実践

②各種テスト結果から、学年としての課題解決策の設定と達成目標の明確化

③自動採点システム「百問練習」の導入による業務改善と個に応じた学力分析の実施

## ウ キャリア形成力の向上

○3年間を見通したキャリア教育の推進（積極的な直接体験の場の充実）

○全教育活動を通して基礎的、汎用的能力である「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成

## エ 心力の向上

○考え方議論する道徳の授業実践（読み物を追いかける授業から自己関与する道徳の学習への転換）

○「君ならどうする？」を重視した道徳の学習

○考え方の根拠を大切にする道徳の学習

○自己内対話から集団思考につなげる道徳の学習

## オ その他

①特別支援教育の充実推進（特別支援教育を学校のど真ん中に据えて全教師で推進する）

②生徒の安全管理に関する指導の推進（外部講師の積極的な招聘による学習の実施）

### ②経営課題

#### ア 主任・主事の組織マネジメント力の強化

○学校組織のラインとスタッフ機能を強化させ、主任主事によるミドルアップダウンマネジメントを推進する

#### イ 教科担任、学級担任としての生徒理解力、授業実践力の強化

○生徒理解の視点に立つ教師の姿勢、態度を通した個別最適な学び、協働的な学びの推進

#### ウ 小学校、家庭・地域との連携強化

○児童生徒の自己肯定感を向上させる教育活動を推進し、9年間を見通した共育の推進

#### エ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の充実、進化

○学校経営構想図参照

#### ③課題解決のための具体的方策

#### ア 教育課程の改善

○「総合的な学習の時間」や特別活動の単元の始めに目的意識を持たせる工夫、生徒自ら考え、自ら学ぶための支援、単元の見通しを持たせる工夫、単元末に探究結果の発表（表現活動）・評価の場を設定するなど、教科横断的な教育活動のカリキュラム編成を改善する必要がある。（思考力、判断力、表現力の育成）

「総合的な学習の時間の年間計画」の改編（別途資料にて説明）

①「総合的な学習の時間」の学習内容の見直し

「春日南中未来学」の開設→春日市の今を知ろう（1年）春日市の今を探ろう（2年）

春日市の未来を提言しよう（3年）

## イ 校務分掌組織・学年組織の改善と組織運営の機能化

- 学校・学年組織を機能させる報告・連絡・相談の徹底と協働での指導・支援の徹底
- 教育課程部を中心とした学校行事や総合的な学習の時間における自己有用感を高揚させる単元構成と評価

## ウ 教職員の人材育成

- 目標設定及び見通しを持たせ、「目標の達成」までの過程の評価を重視し、教職員一人一人のよさの伸長を図る
- 教科学習における本時の主活動の手順説明の時間短縮と主活動、授業の振り返りの完全実施
- 管理職等による授業参観及び生徒授業評価の結果を基にした授業改善の実施  
(基本的な授業技術及び主活動の手順説明の時間短縮と主活動、授業のまとめについて)
- 生徒理解と特別な支援を必要とする生徒の理解・支援のための校内研修の実施
- 教育公務員・社会人としての基礎・基本を高める校内OJT、「春日南中出稽古制度」の実施
- 体罰によらない生徒指導、生徒とのより良い人間関係を築き、生徒の自己指導能力を高める指導、保護者との信頼関係を築く接遇の対応、アレルギー等対応など危機管理研修の実施
- 飲酒運転・交通事故防止、薬物乱用防止、猥褻行為、パワハラ行為、セクハラ行為防止等の不祥事防止研修の実施

## エ 小中連携の充実

- 「キング&プリンスプロジェクト」による小中連携の充実(児童生徒間交流・教師間交流)  
・小中不登校対策委員会の年3回実施・春日南中バッカヤードツアーワークの計画

### オ 令和5・6・7年度福岡県重点課題研究指定・委託事業の実施

- 「生徒指導提要(改訂版)」の内容を踏まえた教育活動の研究
- 安全・安心な風土の醸成(居場所づくりと絆づくり)
- ICTやFF調査等を活用した個々の状況把握とその状況に応じた支援
- 「発達支持的生徒指導」を推進する生徒指導体制の構築

# 春日南中学校教職員三箇条

## 【理念】

生徒に信頼される教師の必須要件は言行一致

教師は常に生徒のモデルである

指導したら、その倍、励まし賞賛を！

## 【実践】

「感動する授業」を実践する春日南中教職員

個別最適な学び、協働的な学びを通して、生徒が

「わかった！」「できた！」と感動する授業実践

## 【協働】

協働できる春日南中教職員

「目的」「目標」を明確に共有する中から、具体的な  
「手段」がみえる。木を見て森を見ようとする狭い  
視野を捨て、全体を見渡す広い度量をもつべき！